

令和元年 7 月 26 日
姫路海上保安部

FM GENKI「飛び出せまちの元気人」の生放送に出演！ ～海難防止川柳で安全啓発～

FMラジオ番組「飛び出せ！まちの元気人」のコーナーは、姫路市民がイベントやさまざまな活動のPRの場として出演を求めている番組です。姫路海上保安部では、海の事故ゼロキャンペーン期間中の海難防止の取り組みをリスナーに呼び掛けようと、7月17日（水）1315からの30分番組に出演することとなりました。番組の冒頭、交通担当次長が還暦を過ぎた者が「元気人」に出演することに相応しいのか悩みましたが、体はまだ衰えを知らず、元気ですのどやって来ました、と軽い掴みから始まりました。

交通課安全対策係長が官と民が一体となって実施する全国海難防止強調運動の取組内容を分かり易く説明しました。海難防止強調運動の播磨地区独自の取り組みの一つ、「海難防止川柳で安全啓発」を行うにあたって、次長が考案した川柳「無理するな 次の休みは きっと風」を一句披露しました。これは土曜や日曜の休みの日に釣りに行く予定としていたお父さんは、天気が崩れる予報であるのに、次の休みは家族サービスしなければならない。今日の休みしか釣りに行けない。このような状況で、無理を承知で釣りに出かけ、天候急変で海難事故に遭ってしまった、という事例を元に、いつか休みの日に風るときはきっとあるから、釣り日和のよい天気の日に出掛けましょうと...「リスクがある船釣りは止めましょう！」と釣り愛好家の心理を謳ったものであると熱弁を奮い解説しました。

また、月末の7月27日（土）、姫路みなと祭海上花火大会が予定されておりますが、狭い港内での船舶による観覧は大変危険であるので自粛を呼び掛けました。陸上の車と違って、海上の船は波や風で同じ場所にとどまることが困難であることから、船舶接触事故の可能性があること、また映画館で映画が終われば、エンドロールも見ずに出口に殺到する例を引き合いに出し、花火が終われば我先に急いで帰ろうと、船舶同士に危険な交差が発生して衝突事故を起こす危険性を孕んでいることを訴えました。次長の分かり易い例え話にリスナーも理解できたことと思われまます。番組の途中、B'zのオーシャンが流れ、海保による効果的な海難防止になりました。

左から安全対策係長・次長・ディレクター・中村佐織パーソナリティ



ラジオで披露した海難防止川柳（安全啓発用リーフレット）

無理するな
次の休みは
きつと風

今日は出港を止めればよかったかな(´_`)

海 の事故 R1. 7. 16~R1. 7. 31
ゼロキャンペーン実施中
ひめじかいじょうほあんぶ

パーソナリティと記念撮影

